

***** The Future We Want

摩 擦 などの無い 貿易をして、おたがいに足りない物を
共有しあったり、その国と、政治上もいっ、関係を作ら
せ、などだ。最近だと、東日本大震災がおこった時、日
本各地から、かなりのボランティアが東北に集まった。また各
国からも、ボランティアや救急隊員、支援物資などが
集まった。こんなことも、立派な協力だと思ふ。こんなに重要
な各国の協力、その協力があれば、様々な問題が
解決できる。各国で日々起っている事故や犯罪、貿易問
題や外交問題、環境の問題、そんな中でも特に
大きい問題の3つに焦点を絞って考えてみる。

1つ目は各国どうし、または国の中での貧富の差が激しい
ことだ。日本やアメリカなどの先進国では、食料や日用品
などが、余るほどある国もあれば、リビア、アフリカ周辺などの
ように、食料不足で死んでいったり、日用品もなく、清潔
を保つことができない上に、病気に感染したりする国もあ
る。そんな貧困を解決できるものは、やはり協力だと思
ふ。物が余っている先進国つまり日本などでは、ユニセフ
がほ、金を集めている。その集まった寄付金を使って、食料
や洋服などの日用品を提供したり、ワクチンなどを使い、病
気を直すことが出来る。また、その国の、貧困問題を解

***** The Future We Want

要だ。有害な物質を放出しない工夫を、工場などに
したり、京都議定書やモントリオール議定書のように放
出量を制限する、など、いろいろの対策がとれる
はまた。だが、環境問題には、セウア・スズキが言っ
ていたように、もう、人工的に直せない物がある。オゾンホ
ルや絶滅した動物など、もう、福島第
一原子力発電所の事故で放出された放射能
は、弱くならない限り、除染をしても、消えることは
ない。このような、人間がやった過ちの責任として、
技術を使って直せないか、どうかを考えた方が
重要だ、と思う。

1992年にリオデジャネイロで行われた地球サ
ミットから20年、セウア・スズキのスピーチから20年が
たった。大人達に未来を考えて行動してもらい、と言ったに
も、方々から、今では環境問題が、環境問題、環境
問題は、増える一方である。しかも、本当に未来のことを
考えて、この場合は、福島第一原発の事故も
おきなかっただけかもしれない。京都議定書
も守られていたはずだ。

1人1人の力で、国を動かすことはできない。しかし、

***** The Future We Want

その一人一人は、コンビニのほろ活動も行ったり、缶の
アルミアや、ペットボトルのキャップを集める活動も
行なったりしている。しかし、政府は、国民が協力
しているにもかかわらず、環境のことなどは考え
ずに、経済のことを優先しています。各国での協
力を築こうと努力しているのかもしれないが、僕に
はそれは見えません。むしろ他国での関係を悪くし
ているように見えてしまう。アメリカやヨーロッパでの貿易摩擦
や、公害などが、その結果だ。そんな政府に言いたい。
時には自分の利益を追い求めることも必要だが、
できるだけ欲は捨て、日本の代表である政府が変
わらない限り、日本も変わらな世界も変わらな。世界的
な問題解決するには、世界の協力が必要だ。

僕は、そんな世界を目指すために、ほろ活動やボラン
ティア、環境保護など、できるだけ色々な活動に参加し
ようと思っている。どうか、政府にも、各国の代表にも、協
力してほしいと思う。